

第13回 JCN現地会議 in 宮城 20160229

あったかい我が家のようなまちへ 「それぞれの役割を担い支え合う地域」 ～自助、共助で行う地域づくりの支援体制の模索～

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会
井岡 仁志

自己紹介

- 井岡仁志（いおかひとし）
 - 社会福祉法人高島市社会福祉協議会 常務理事/事務局長 社会福祉士
 - 1962年奈良市生まれ 広告制作、F Mラジオ局の仕事を経て、33歳に滋賀県朽木村に移住。木こり生活を6年間経験後、2003年に朽木村社協に入職。2005年合併に伴い高島市社協職員として地域福祉・ボランティアセンター業務を経て現在に至る。
 - 被災地派遣：中越地震、中越沖地震、能登半島地震、防府水害、京都南部豪雨、東日本大震災（福島）、地元被災（水害）による災害VC運営（2013年9月）
-
- ◆ 認定N P O法人 日本ボランティアコーディネーター協会 理事（2012～2015）
 - ◆ 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 評議員（2014～）
 - ◆ 全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会委員（全社協）（2015～2016）
 - ◆ 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議運営委員会委員（2015～2016）



本会議参加にあたり考えた 2 つのこと

1. NPOと社協の組織的性格の違いは何か？その理解なくして、連携協同することは難しいのではないか。
2. 「被災者＝客体」から、そこで暮す「生活者＝主体」として、現状の暮らしや自分たちの将来を構想し、自発的に参加・協働する力をより引き出すために、私たちは何ができるのか。

1. NPOと社協の組織的性
格の違いは何か？その理
解なくして、連携協同する
ことは難しいのではないか。

社会福祉協議会（社協）とは

- 地域社会のふくし（みんなのふだんのくらしのしあわせ）を（みんなで）協議する会
- **地域福祉を推進**（社会福祉法 4 条）することを目的とした組織（同法 1 0 9 条）
- 戦後の G H Q の公私分離政策により、全国の市区町村に設置
- それぞれが独立した法人であり、1800市町村あれば、1800通りの社協があるが、一方で全国ネットワークがある。
- 「**住民に雇われている福祉専門職**」（理事・評議員は住民代表）

「地域福祉」とは

- 社会福祉法第4条（地域福祉の推進）
- 地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。
- 高齢になって介護が必要になっても、重い障がいがあっても、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域のつながりの中で、自分らしく暮らしていくために、住民も専門職も行政も、みんなで力と知恵を出し合い、協力してやっていきたいと思いますという法律。

社協の使命・役割とは（私が曰頃心がけていること）

- 住民の**参加**の促進と、社会福祉関係者、行政等の**ネットワーク**をつくり、官民**協働**で、子どもから高齢者まで、障害の有無に関係なく、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会をつくること。（**地域福祉の推進**）
- 地域の住民や公私の社会福祉事業関係者、その他関係者により、地域の生活課題、福祉課題について**話し合うテーブル**をつくり、解決に向けた連絡調整をおこなうこと。（**社協の協議体の性質**）
- 住民の地域福祉への関心を喚起し、その自主的な取り組みの**組織化**と活動への**参加**を支援すること。（**生活者である住民の主体形成、住民自治**）
- 住民の福祉ニーズを把握し、それに立脚して必要な事業、サービスを企画、実施する。（**事業体、開発志向**）

福祉専門職に求められる 3 つの力（大事にしていること）

●ネットワーク

分野縦割りの制度福祉中心からの脱却のために、高齢、障がい、児童、貧困の各分野の機関、事業所の連携促進（NPOや企業とも）

●開 発

制度に基づく福祉ではなく、ニーズに基づく福祉をおこなう。「無いものは創る」のがプロの醍醐味。福祉の仕事は創造性（クリエイティブ）があるから面白い。

●協 働

福祉の主体は住民であり、専門家のものではない。制度福祉では解決できない問題を住民と共に解決する協働力が求められる。

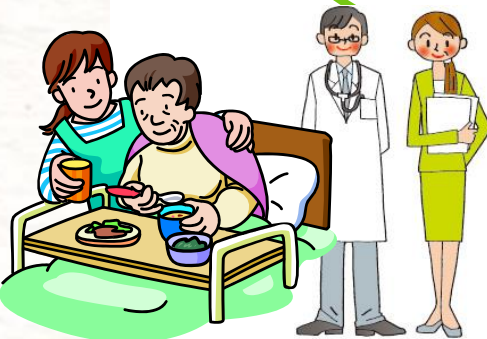
NPO（法人）と社協の組織的特性の違いとは？

NPO	NPOは テーマ型 で、例えば生活困窮者支援でいうと、子どもの貧困に特化した居場所づくり（例：子ども食堂）やフードバンク、ホームレス支援といった 具体のミッションに基づく専門性の高い事業 がある。	事業がより 具体的、専門的で柔軟性やスピード感 がある。
社協	①「協議体」として、多様な関係者のテーブルをつくり、ニーズを顕在化させ、 ②「事業体」として、そのニーズに立脚して様々な資源を開発し（資源があれば、そこと連携して） ③「運動体」として、社会に問題を発信し、住民の参加を促していくというのが仕事。	スピード感に乏しいが 連続性、継続性 があり、時間はかかるが、解決のための ベースづくり をしている。

専門機関ネットワーク(公助)

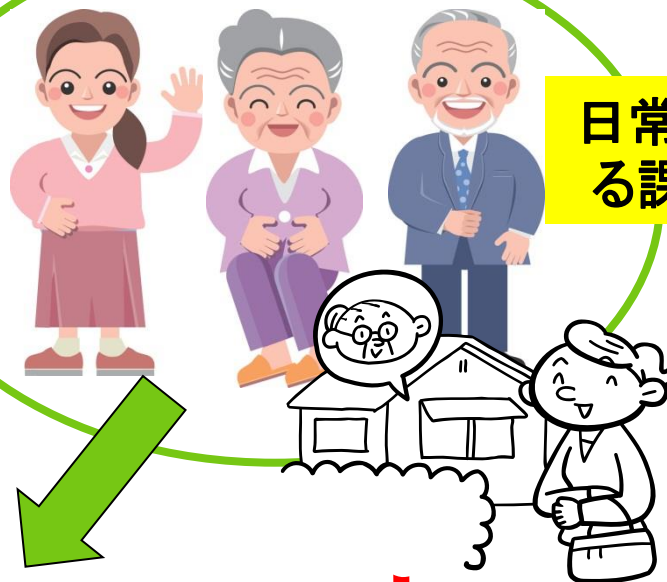
必要な医療福祉サービス
生活資金貸付、家計管理、
就労支援
継続的な相談援助 など

制度による
専門的な支援



自治会内ネットワーク(自助・互助)

日常的な見守りによる
課題の早期発見



ボランティア、NPO、企業等 の連携(共助)



生活支援ボランティア、有償助け合い
サービスなどによる、一人ひとりオー
ダーメイドの柔軟な手助け



多様な生きづら
さを抱えた人

社協の 総合調整力 開発力



みんなでつな
がって支える！
ないものは
生み出していく

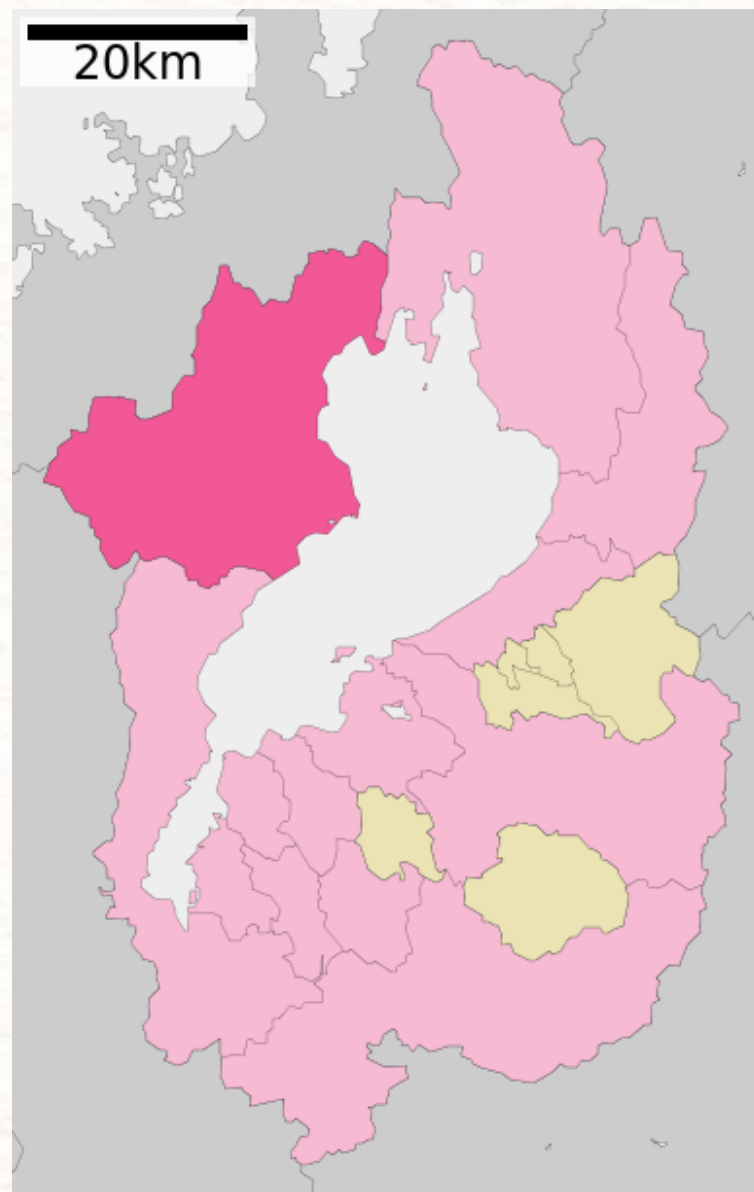
2. 「被災者＝客体」から、そこで暮す
「生活者＝主体」として、現状の暮らし
や自分たちの将来を構想し、自発的に
参加・協働する力をより引き出すために、
私たちは何ができるのか。



滋賀県高島市

平成27年4月1日現在

合併	H17年1月1日（5町1村）
面 積	693 km ²
人口	51,349人
うち0～14歳	5,982人（11.6%）
うち65歳以上	15,849人（30.9%）
人口密度	74.0人
世帯数	20,145世帯
世帯当たり	2.5人
自治会数	204（自治会未加入世帯が3割）
限界集落数	25（H27年3月末）
準限界集落数	84（H27年3月末）



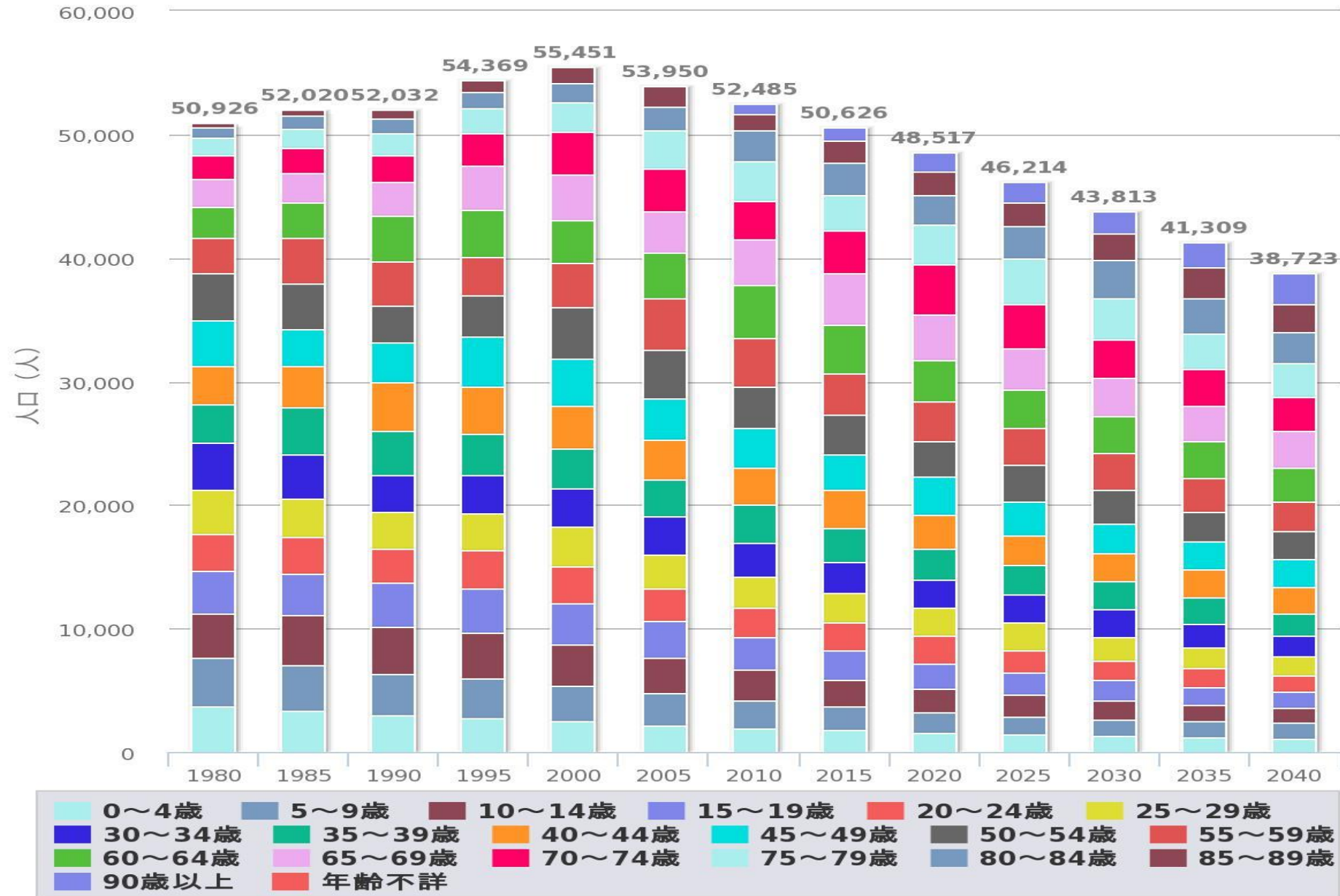
○生活保護の状況（平成27年4月1日現在）

被保護世帯数265世帯 被保護実人員385人 保護率7.70%

高島市 の年齢別人口の推移

出典:

国勢調査を独自集計、「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）



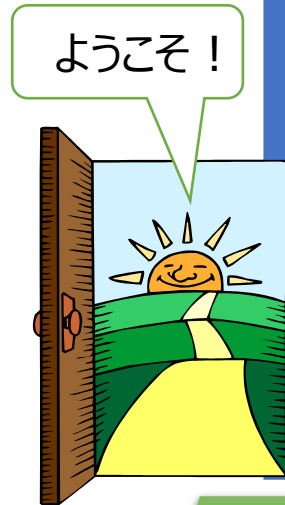
NEXT10

～あったかい、我が家のようなまちへ～

10年後を見据えた「家づくり・まちづくり」の設計図



安心して暮らせる
大きな屋根をかけよう！
計画・施策・しくみづくり



誰もが歓迎さ
れる玄関を
つくろう！
総合相談

地区
VC

みんなが集まって話し合
えるお茶の間をつくろう！
住民福祉協議会



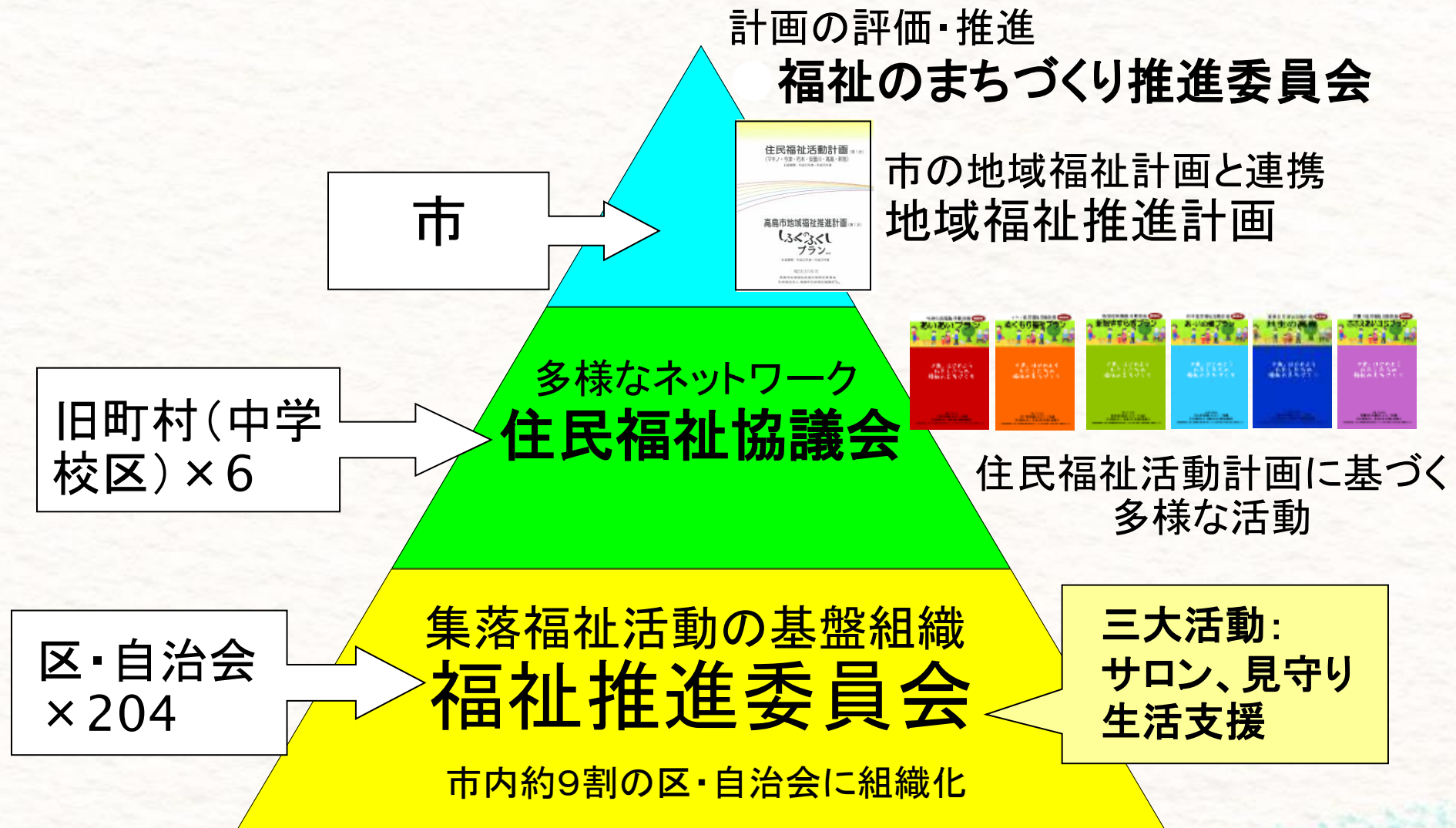
誰もが立ち寄れる
縁側をつくろう！
地域共同ケア拠点



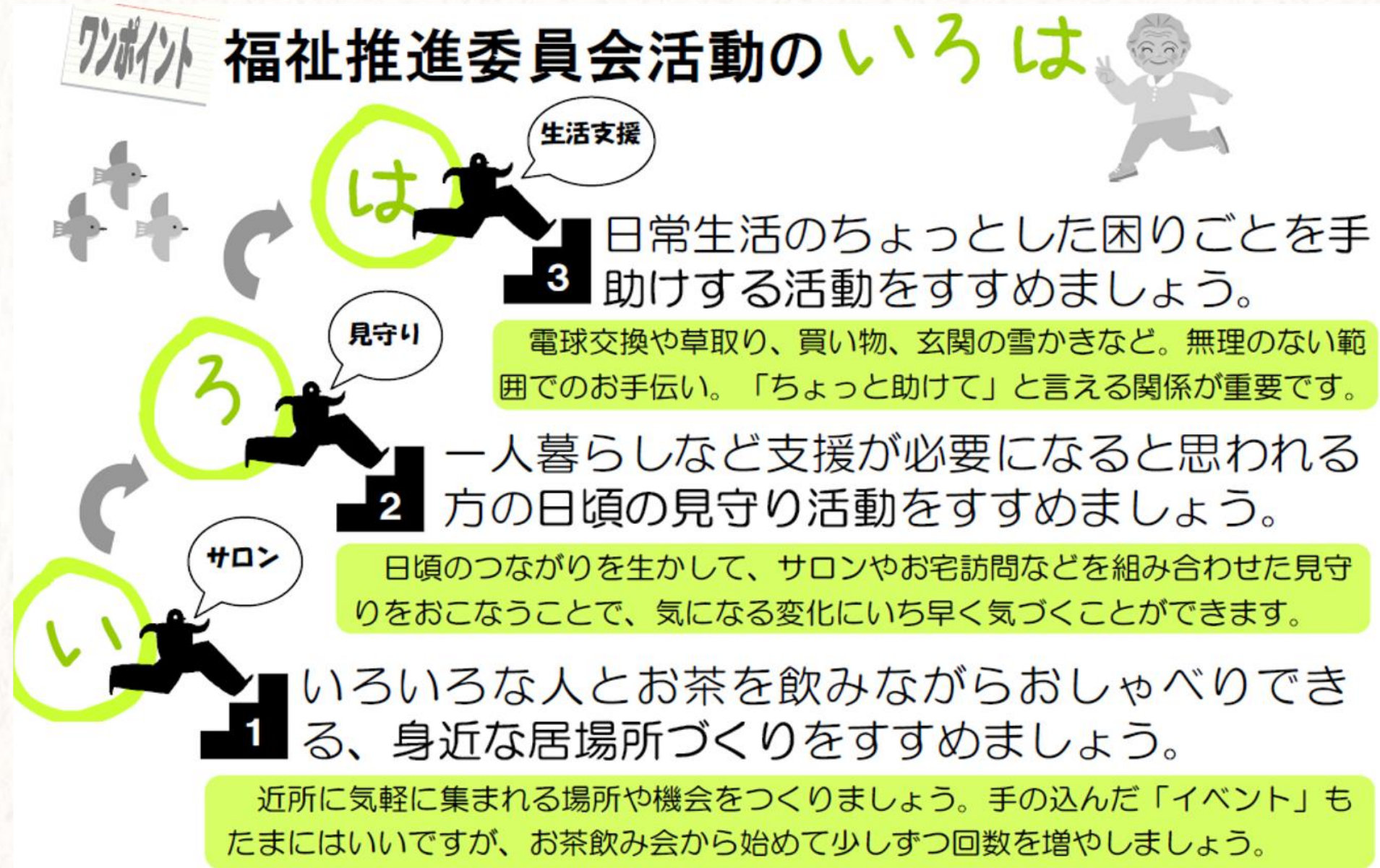
ゆるがない土台と基礎をつくろう！
サロン・見守り・生活支援



高島市の三層の地域福祉推進基盤



福祉推進委員会の3大活動





たとえば、こんな

見守り ネットワーク

お隣さんが週1回
買い物やゴミ出し
をお手伝い。
また、夜、電気が
消えているか気に
している。

月2回、息子家族が
帰郷して、部屋の
片付けやお出かけに

区長・自治会長
さんが相談役に

民生委員さんが
定期訪問

変化があったら
社協に相談

週2回の
ヘルパー利用

福祉推進委員長、福祉推進
委員さんが月2回サロンに
お誘い。
週1回電話での安否確認も

一人暮らし高齢者

老人クラブの友人が
週1回話し相手に。

関係機関の専門職や
傾聴ボランティアなど
の支援。

見守りネットワーク活動 取り組み地区MAP 2015

ついに4割を突破!

見

(H27年9月現在)

今津地域(17地区)

- 【松陽台】松陽台見守りネットワーク活動
- 【保坂区】保坂見守りネットワーク事業
- 【中浜区】どんなもんやカフェ
- 【カームタウン】カームタウンカフェ
- 【浜分】ふれあいクラブ浜分
- 【新保寺区】新保寺見守りネットワーク活動
- 【杉沢区】杉沢区ひまわりカフェ
- 【南新保区】南新保見守りネットワーク
- 【梅原区】梅原見守りネットワーク事業 ★
- 【伊井区】伊井見守りネットワーク活動
- 【角川区】角川見守りネットワーク
- 【三谷区】三谷見守りネットワーク活動 ★
- 【望みの郷自治会】望みの郷見守りネットワーク ★
- 【横川区】横川見守りネットワーク活動 ★
- 【川尻区】川尻見守りネットワーク活動 ★
- 【東新町区】東新町高齢者等見守り活動 ★
- 【大床区】大床見守りネットワーク活動 ☆★

マキノ地域(12地区)

- 【高木浜自治会】高木浜見守りネットワーク
- 【西浜区】にしやまサロン「おいでやす」
- 【湖西平自治会】ふれあいとなりみ活動
- 【マキノ西自治会】地域の絆(きずな)育成活動
- 【社区】社見守り隊
- 【山中区】子ども大人もみんなで見守る山中区
- 【牧野区】防災訓練を起点とした災害弱者等見守りネットワーク活動
- 【姫口区】ふれあい「災害電話によるホットラインと手助け体制構築」
- 【グリーンレイク町内会】グリーンレイク声かけ見守り活動
- 【海津2区】海津2区はがら見守りネットワーク ★
- 【中庄区】中庄見守り活動 ★
- 【寺久保区】寺久保見守りネットワーク ★

新旭地域(7地区)

- 【井ノ口区】井ノ口区のはなクラブ活動
- 【五十川区】五十川見守りネットワーク
- 【新庄区】見守りグループ「たんぽぽ」
- 【北畑区】北畑いのみクラブ
- 【針江區】針江見守り活動会
- 【太田区】おちのみカフェ ☆
- 【堀川区】堀川区スマイルカフェ ☆

朽木地域(12地区)

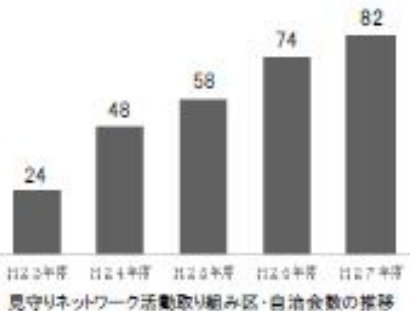
- 【市場区】市場見守りネットワーク
- 【麻生区】麻生見守りネットワーク
- 【本地山区】本地山見守りネットワーク
- 【地子原区】地子原見守りネットワーク
- 【古川区】古川区高齢者等見守り隊
- 【郷生区】郷生見守りネットワーク活動～とちゅうカフェ～
- 【大野区】大野見守りネットワーク ★
- 【宮前坊区】宮前坊てんぐちゃんカフェ
- 【能家区】能家見守りネットワーク
- 【野沢区】野沢見守りネットワーク ★
- 【岩瀬区】岩瀬見守り隊 ☆
- 【村井区】村井見守りネットワーク ☆

高島地域(17地区)

- 【竜自治会】竜ふれあいネットワーク推進事業
- 【城山自治会】城山台マンスリーカフェでつながり作り
- 【宮野自治会】宮野自治会声かけネットワーク
- 【渡瀬自治会】渡瀬ふれあい声かけチャット助け合い(隊)
- 【宮野区】ひまわり訪問活動
- 【畑区】畑区高齢者等見守り隊
- 【南郷戸区】カフェより愛・見守り訪問
- 【打下区】打下いきいき活動
- 【榊自治会】榊声かけふれあいサークル
- 【宝自治会】サークルピナス
- 【新町自治会】しんまち見守り隊
- 【横川平自治会】見守り活動「つながり」
- 【萩の浜自治会】萩の浜見守りネットワーク「ひびきあい」
- 【北橋自治会】橋ちゃんカフェ
- 【横山区】見守りネットワーク「希望(のぞみ)」
- 【東橋自治会】東橋自治会声かけ福祉ネットワーク ★
- 【出橋自治会】見守りネットワーク 出橋 ☆

安曇川地域(17地区)

- 【下吉賀区】下吉賀ふれあい訪問隊
- 【上吉賀区】こんにちは、お元気ですか!活動
- 【馬場区】充実した見守り活動の推進
- 【仁和寺区】仁和寺和い輪カフェ
- 【十八川区】十八川区でいこカフェ
- 【田中ニュータウン区】田中ニュータウン愛の訪問隊
- 【青柳区】見守りネットワーク 青柳
- 【リバーサイド区】リバーサイド見守り隊
- 【南船木区】高齢者等見守りネットワーク「たんぽぽカフェ」
- 【川島区】きずなねっと「かわしま」
- 【藤江區】支えあおう藤江・コスモス会
- 【沖田区】うき・うきカフェ
- 【今在家区】歩みカフェ ★
- 【竹の園区】竹の里見守りネットワーク事業 ★
- 【五番領区】見守りネットワーク五番領おとなさん ☆
- 【北船木区】輪の内カフェ ☆
- 【三尾區】三尾見守り声かけ活動 ☆★



82
204
区・自治会

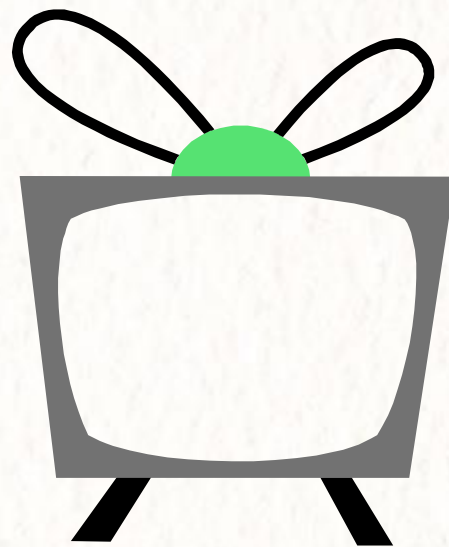
☆はH27年度から取り組み区・自治会。
★は見守りネットワーク活動助成金を申請せずに取り組み区・自治会。



山間部の過疎集落から大規模な新興住宅地まで
方法はひとつではなく、地域にあったオーダーメイド



ビデオをご覧下さい



見守りネットワーク

「見守り会議」で気付きを共有



区長、民生委員、福祉推進委員会、老人クラブ、ケアマネジャー、社協が参加。15人の住民と気になる方約30人の情報を共有。

気になる人を見守る！

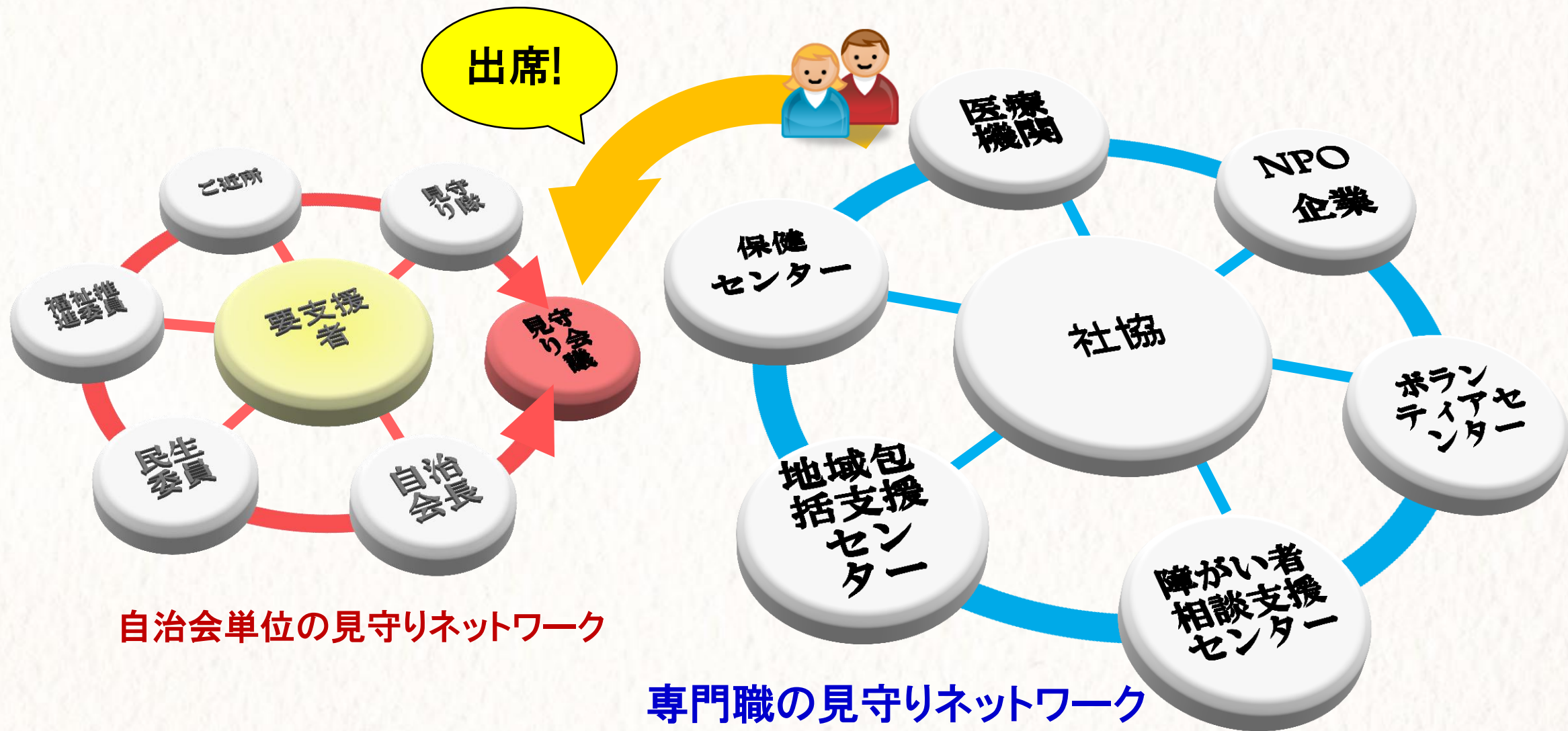


- ある地区の見守り会議で話し合われたこと
 - 奥さんの具合が悪いらしい
 - 老老介護
 - 自治会未加入の独居高齢者への関わり
 - ニートの息子
 - 病気で難聴になり自転車の運転が危うい方
 - 80歳代独居の認知症の方への関わり方
 - 軽い認知症傾向が出てきた方、
 - 日中独居の高齢者
 - 地域で孤立している乳幼児を抱える若夫婦
 - 人前に出たがらずサロンに来ない方
 - 結婚していない長男と老親家庭

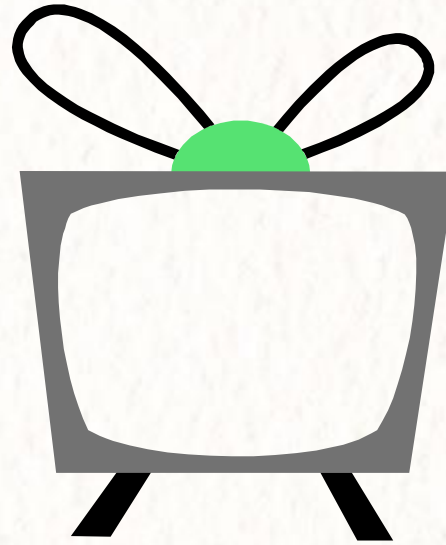
専門職を味方につける



自治会単位の見守りネットワーク



ビデオをご覧下さい



見守り会議

三役合意で「自治会公式」活動に

～地域ぐるみの取り組みへ～

毎年住民福祉こんだん会を開催。

各自治会の自治会長・民生委員・福祉推進
委員長の「ふくしの三役」が出席。

地域の課題を話し合い、みんなの問題として
考えていくきっかけにする。



地域性に即した、ボトムアップの取り組み (方法を押し付けない)

懇談会のアンケートにより、取り組みたいと思っている自治会に職員が出向いて、自治会役員、地縁組織の役員等に改めて見守りネットワークの必要性を説明し、方法を一緒に考える。



気になる人を見守る。

- 取り組みの最終合意を得られた場合、活動方法、対象者選定、見守り体制、住民への周知方法などを決めていく。
- 特に**対象者は高齢者だけではなく**、気になる人を見守るという視点で。



住民のボランティア参加

活動の担い手

募集

村の福祉に協力いただける方

上弘部区では、高齢化が進むなど変貌する地域社会にあって、今後ますます地域（ご近所）の助け合いが必要になってくると考えます。

そこで「福祉推進委員会」を立ち上げ、地域の見守りや助け合いの活動を進めたいと思います。

1月12日の区初総会でご決定いただきました。

まずは、第一歩 集落内の「見守り訪問活動」から始められないかと思えます。ご協力いただける方はありませんか。

この活動は防災や防犯にも役立ちます。
村長はサロンなど交流の場への展開にもつながります。

決意

わが村から孤独死を出さない

上弘部福祉推進委員会の構成（案）

委員長 代理区長

委員 看護・介護関係者、福祉施設関係者、一般公募、民生委員など

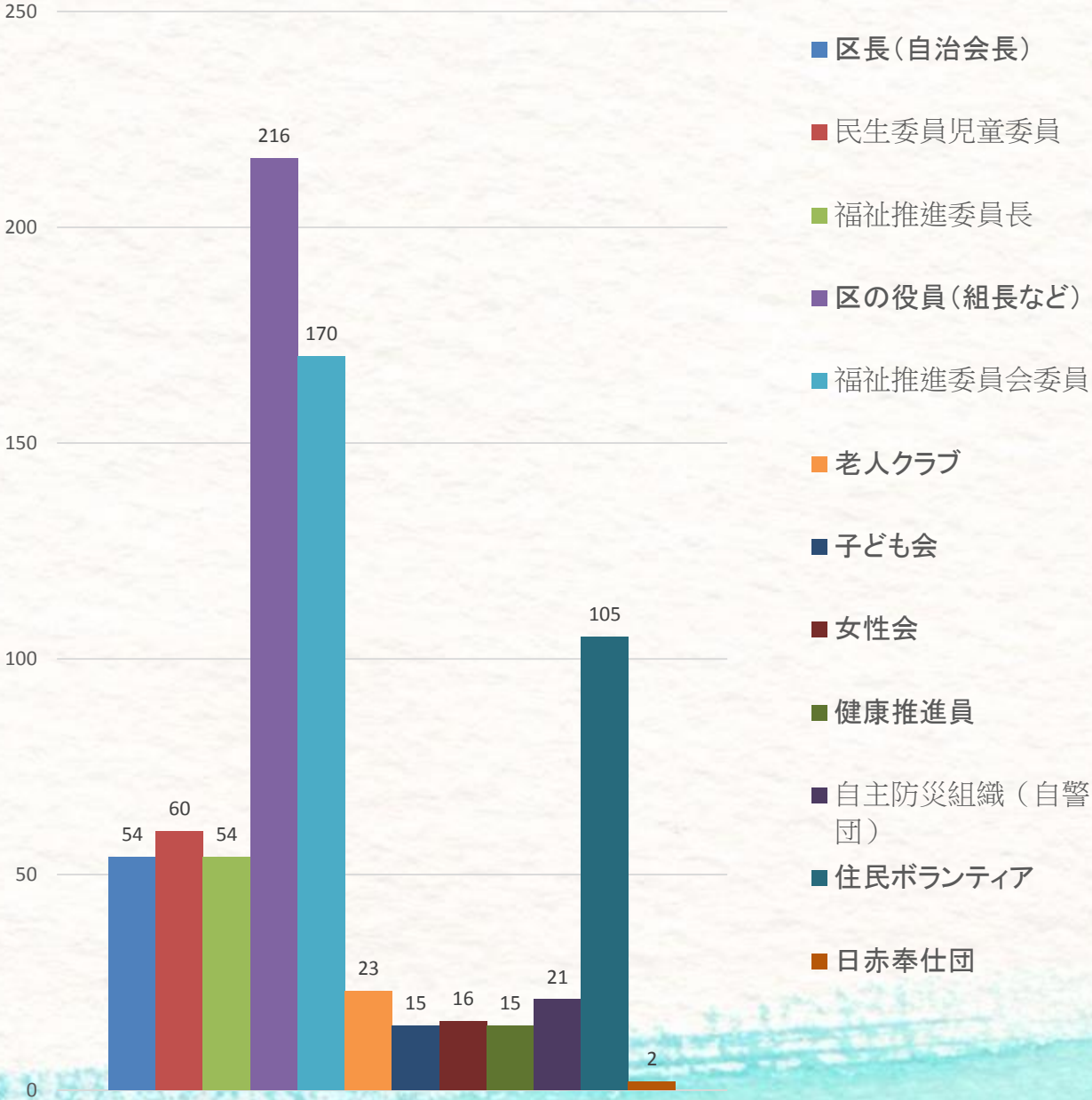
最初から大きなことはできません。

まずは委員の皆さんにお集まりいただき、民生委員のご意見も伺いながら、何が出来るか、何からは始めるべきか、村の状況を見ながら話し合いたいと思います。

これからの高齢社会を、助け合いながら、健康で生き抜くこと、これは決して他人事ではありません。

ご協力いただける方は、 でご連絡ください。（2月中旬くらい）

上弘部福祉推進委員



企業・事業所等60社以上が見守りネットワークに参加



- 協定企業、事業所と市が協定を締結。
- 気になる人がいれば迷わず包括に連絡。
- 包括は、企業に「認知症サポーター養成講座」などの研修を開催。

(写真2014年3月)

住民参加型助けあいサービス連絡会

シルバー人材センター、生協コープしが、助け合い活動をおこなうNPO法人、生活支援ボランティアグループ、自治会内互助グループ、障がい者施設で買物難民を支援する社会福祉法人、市民活動センター、社協等、有償・無償を問わず生活支援サービスに取り組む団体が、活動の課題を共有し、共に地域の暮らしを支えることを考える場づくり。



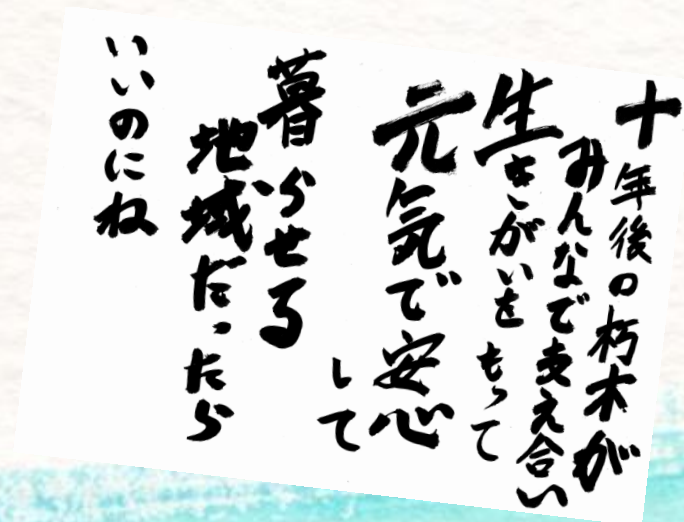
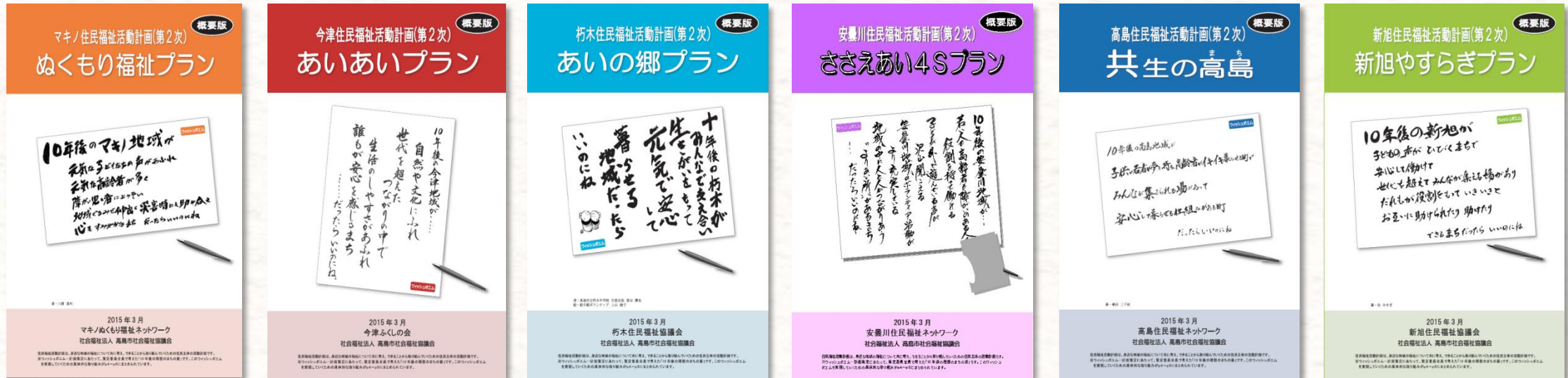
2012年度第1回つながり会議の様子

大学ボランティアセンターと連携した 山間過疎集落でのワークキャンプの開催



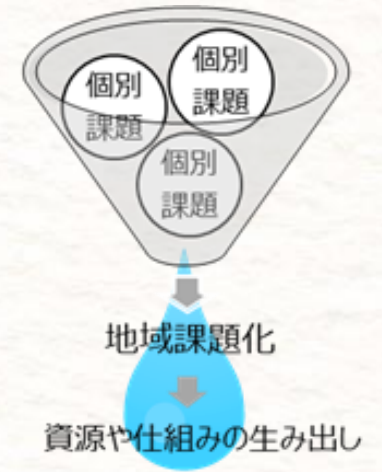
旧町村単位で誰でも参加できるネットワーク組織 住民福祉協議会

6地域の住民福祉活動計画



住民福祉協議会と多職種の専門職の連携 セーフティネット連絡会

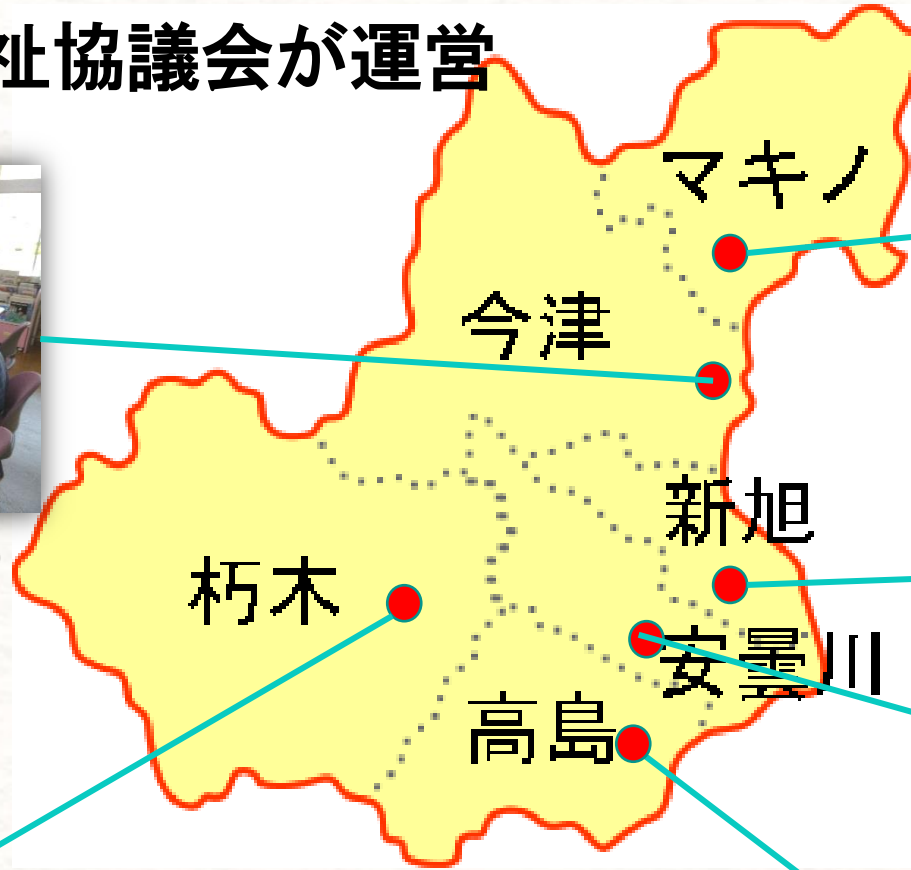
住民福祉協議会と医療・福祉・介護・教育・まちづくりなどの多職種の専門職が一同に会し、地域の暮らしの問題を共有して、個別の問題を地域課題化し、必要な資源や仕組みを協働で生み出していくための話し合いのテーブルです。



高島市の地区ボランティアセンター 6地域の住民福祉協議会が運営



(2012年誕生)



(2013年誕生)



(2015年誕生)



(2013年誕生)



(2015年誕生)



(2012年誕生)

専門職との協働・ネットワーク



介護ヘルパーからの相談を受けて対応

相談は待っていても来ない



山間過疎高齢集落での出張地区VC

新たな活動の生み出し



中高年男性の孤立⇒男の料理教室へ

拠点機能(交流、居場所、窓口)



住民やボランティアが気軽に寄れる場

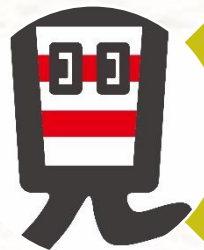
活動を支える財源開発

赤い羽根 たかしま見守り募金

- 少子高齢化、社会的孤立の問題を他人事とせず、住民が主体的に取り組む「まちづくりとしての見守り」を運動として地域に広げていく。
- 「見守り募金」は、見守りネットワーク活動を応援する民間財源として2013年度からスタート。

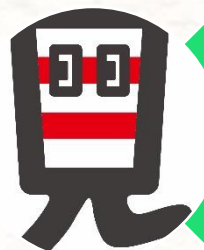


見守り募金の3つのチャレンジ



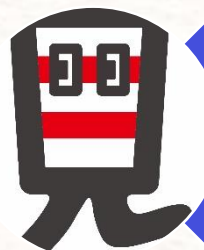
テーマ型募金

住民主体の見守りネットワーク活動のみに使われる。



新たな募金手法

寄付つき商品など企業との新たなパートナーシップの構築。



期間拡大募金

一般募金との違いを明確にして、募金期間を半年に拡大。

まとめ 「監視型見守り」ではない 福祉のまちづくりとしての見守り

- 一部の人だけで活動せず多くの人に参加できる、**地域ぐるみの仕組み**にする。
- 対象を限定せず、皆さんが思う**「気になる人」**を見守る。
- **「知っているのと関わっているのは違う」**。関わることで、信頼関係が深まり、様々な気づきが生まれる。
- 見守り会議で**専門職、社協職員と顔見知り**になる。
- 一方的な見守りではなく、**「お互い様」の活動**にする。
- 見守りを通して、いつでも困ったことが相談できる、**S O S が出しやすい地域づくり**を住民主体で進める。

ありがとう
ございました。



高島市社協の見守りネットワーク活動は
下記URLからご覧いただけます。

<http://takashima-shakyo.or.jp/mimamori/index.htm>